

劇団四季オリジナル・ミュージカル

劇団四季

# はだかの王様



美しいことばと楽しいメロディが織りなすファンタジーの世界。—— 構成・演出=浅利慶太  
アンデルセンと寺山修司が仕立てた子どもと大人のためのおとぎ話。—— 台本=寺山修司  
最高のおしゃれを求めた王様のおしゃれなミュージカル。—— 衣裳=森英恵

原作=ハンス・アンデルセン 作曲=三木たかし・宮川彬良 振付=謝珠栄・篠井世津子 装置=土屋茂昭 照明=沢田祐二 出演=劇団四季  
共催=財団法人 舞台芸術センター 後援=日本自転車振興会 \*この公演は「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。



# はだかの王様

世にも不思議な服

あなたには「見える?」「見えない?」

王女の恋人デニム いやいや。僕にはどうしても見えない。

ないものが見えるわけがないもの。

王女サテン

でもデニム、

あの衣裳が見えない人はバカだって話は知ってる?

内務大臣ステテコ

ここだけの話、

俺にやそれほどハッキリは見えないね

いや、ハッキリは見えないが、少しは見えたんだ。

お針子たち

あたしたち、どっちかという役に立たない方だし。

だから最初から見ようなんて思わないの。

おしゃれ好きな王様とさたら、王女サテンと運動大臣アロハとの婚約発表に世にも不思議な衣裳を作らせることにしました。「とびぬけたバカと役に立たない者には見えない」という布地を前にお城は大騒動。

戦争大臣ブルーマー

素晴らしい布地?

そんなものは何もありやせんじやないですか!

運動大臣アロハ

見えない衣裳だろうと何だろうと、

はだかは一時の恥、王女は一生!!

早世した天才・寺山修司によるシニカルストーリー、国際的デザイナー・森英恵の華麗なコスチューム、浅利慶太の構成・演出によってアンデルセンの童話が豪華で楽しい舞台になりました。子どもと、むかし子どもだった大人のための劇団四季オリジナル・ミュージカル。どうぞご期待ください。

全国の子どもたちに舞台の感動を

この事業は、日ごろすぐれた舞台に接する機会が少ない全国の子どもたちに、最高のスタッフ・キャストによる第一級のミュージカルをご覧いただくとうと、各開催地の主催者と財団法人舞台芸術センターとの共催で実施して19年目となります。

財団法人舞台芸術センター(理事長・江戸英雄・専務理事・浅利慶太)は、73年11月に設立され、演劇・音楽などの舞台芸術の普及・向上をはかるとともに、舞台芸術を通して青少年の豊かな情操を育むことを目的としております。

出演する劇団四季は、以前から積極的に子どもたちに夢と勇気をあたえるミュージカルの上演に取り組み、全国公演展開にも力を注いでおり、各界から大きな評価を受けています。

今回ご覧いただきます『はだかの王様』は、64年に日生名作劇場第一回公演として初演されました。それ以降何度も上演を重ね、今もなお、多くの方々に愛され続けているミュージカルです。

この作品を通して、ご家庭共通の話題をお届けできればと願ってやみません。

財団法人 舞台芸術センター

〒225 横浜市緑区あざみ野二丁目二十四ー七



この公演は、日本自転車振興会から競輪の公益資金の補助を受けて開催するものです。

# 1/21(金)7:00p.m.開演 たんば田園交響ホール

前売：一般3,000円(全席指定) 当日500円up \*主催：篠山町 ☎(0795) 52-3600  
学生1,500

協賛・日本生命保険相互会社 篠山営業所  
プレイガイド (篠山町内) 書店・楽器店・役場支所 (多紀郡内) 各町公民館・リプロ・〔各農協で取次〕  
(氷上郡) 春日町文化ホール・柏原観光案内所 (三田市) ニチイ三田店サービスコーナー